

橋梁の維持管理に関わる官民連携の導入

■インフラの維持管理・修繕等に係る官民連携事業の導入検討
□官民連携グリーンチャレンジモデル

①解決したい課題

- ・ **橋梁の老朽化** : 橋梁の老朽化によって、大規模な修繕や架け替えの必要な橋梁数の増加が見込まれる。
- ・ **橋梁計画の見直しと更新** : 橋梁長寿命化修繕計画の見直しや中長期計画の更新に大変苦慮している。
- ・ **データベースのデジタル化** : 上下水道施設のデータベースはデジタル化されているが、橋梁と道路のデータベースはデジタル化されていない。
- ・ **担い手不足の顕在化** : 土木技術職員（図-1）および地元建設業者の高齢化と減少のため、担い手不足が顕在化している。
- ・ **修繕設計と工事の増加** : 橋梁点検は4年で460橋を分割しているが、近年、修繕設計および工事の本格化に伴いその費用が増加している。（図-2）

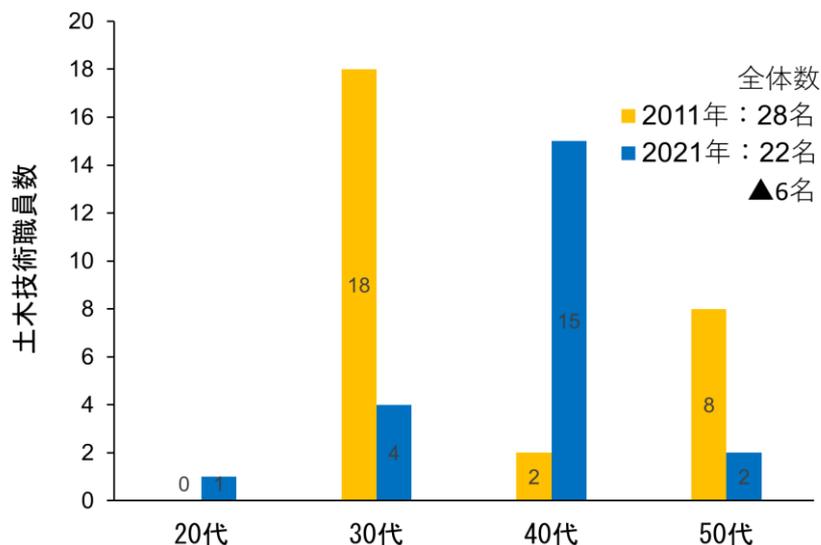


図-1 杵築市土木技術職員数の推移

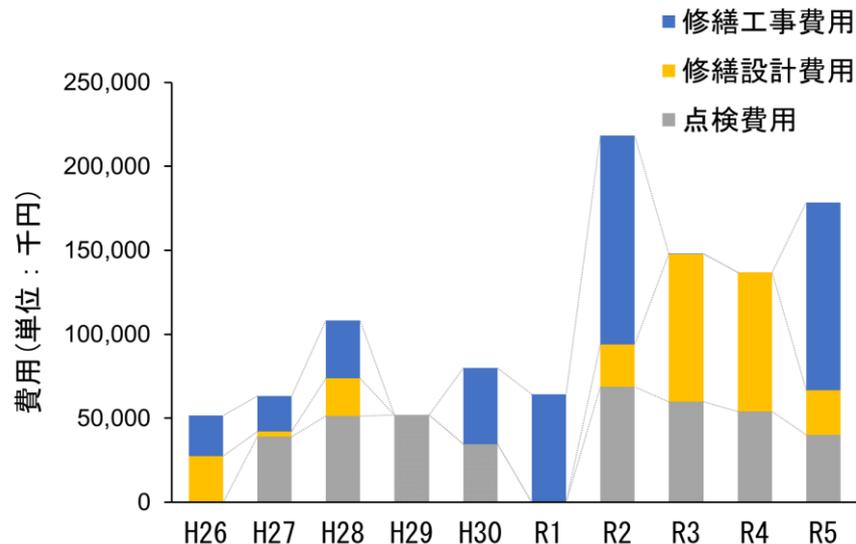


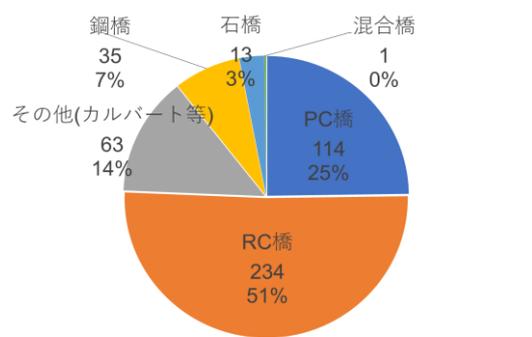
図-2 杵築市管理橋梁(460橋)、点検、修繕設計、修繕工事の費用推移

橋梁の維持管理に関わる官民連携の導入

■インフラの維持管理・修繕等に係る官民連携事業の導入検討
□官民連携グリーンチャレンジモデル

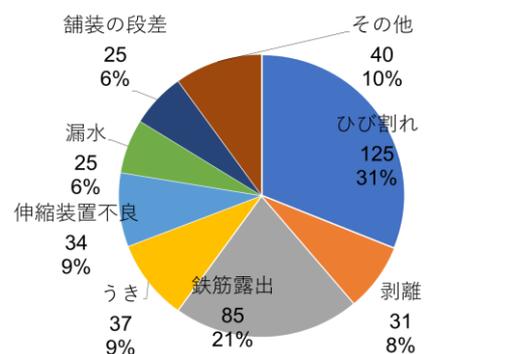
②課題解決の方向性のイメージ

- ・90%を占めるコンクリート橋の約70%が高度な技術を必要としない損傷であることから、専門的な知見に基づき簡易的な補修を行いたい。(図-3、図-4)
- ・橋梁の損傷を簡易的な補修によって、より改善することで、修繕費用のコスト縮減を図りたい。
- ・地元の測量設計会社、建設会社の人材を集めて連携することで、地元建設業の活性化を図りたい。
- ・橋梁データベースを作成し、将来的な維持管理費も含めた中長期計画を更新したい。
- ・民間技術力と地元建設業が協働することで、地元企業の技術力向上を図りたい。



・90%がコンクリート橋(PC:25%、RC:51%、カルバート等14%)

図-3 杵築市管理橋梁(460橋)の橋種種別と橋梁数・割合



・高度な技術を必要としない損傷(ひび割れ・剥離・鉄筋露出・うき)割合が全体の69%

図-4 杵築市管理橋梁(460橋)の損傷区分数と割合

②その他

- ・官民連携することで従来の自治体行政業務の活性化を図りたい。
- ・橋梁のデータベースを構築することで、他のインフラ構造物への展開も可能である。